

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和5年度学校評価 結果・学校関係者評価

達成度(評価)
A: 十分達成できている
B: おおむね達成できている
C: やや不十分である
D: 不十分である

学校名 嬉野市立五町田小学校

1 前年度 評価結果の概要
・会議や研修について見直しているもの、コロナ感染症対応による職員の負担感、行事の変更等時間外勤務も前年度と比べてあまり変わらなかった。また、児童対応の案件については、他の外部機関との連携・協働により担任が一人で抱え込まない体制が整い、負担軽減につながることができた。
・コロナ禍の中で「学び合い」を活用した授業づくりができ、前半は一人ひとりの時間を設定したことから、自分の考えを書くことに対して少しずつ抵抗が少なくなってきた。基礎学力の定着のために全職員で取り組んだことで、学力向上につながった。引き続き、学校が一つになってこの実践を行っていく。
・キャリアパスポートが効果的に使われてきた。次年度も学年相応に丁寧に推進していく。
・児童は安全で落ち着いた学校生活を送ることができた。さらに、自己有用感を高め、人付き合いの仕方や自分の気持ちの伝え方を学習するためのSSTを取り入れると共に、日常の教育相談を丁寧に行っていく。
・体力・運動能力の向上に向けて環境整備を進める。また、家庭生活リズムづくりの中で、特に、テレビゲーム等の時間が守られていない状況も見られる。さらに、家庭との連携を図る。

2 学校教育目標
かしく やさしく たくましく
①かしくい子(主体的に学び、集団の中で生き生きと活動できる子ども) ②やさしい子(自分で考え行動し、他者と協力できる子ども) ③たくましい子(心も体も健康で粘り強い子ども)

3 本年度の重点目標
①全ての子どもが「活動する喜び」「分かる・できる喜び」「教え合い・学び合う喜び」「追求・工夫する喜び」を感じられる教育活動を推進し、学力の向上を図る。
②全ての子どもに「関わり合いの中で生き生きと学ぶ」機会を作り、「学校に行きたい」と思える期待感の向上を図る。

4 重点取組内容・成果指標 中間評価 5 最終評価

(1)共通評価項目
評価項目 取組内容 成果指標(達成目標) 具体的取組 進捗状況(程度) 中間評価(進捗状況と見直し) 達成度(程度) 最終評価(実施結果) 学校関係者評価(評価 意見や留意)

5 総合評価・次年度への展望
・担任の負担軽減のために、宿題や採点等については級外が分担していくことは非常に有効であった。一方で、どんな箇所間違っているのか、何にまずいっているのかを知るためには、担任が書き直しをさせることも大切であるので、書き直しのさせ方については今後の課題である。
・コロナ後で「学び合い」を活性化することができるようになったが、学力の土台となる基礎・基本をしっかりと身につけるために、復習や補習、家庭学習を徹底してやることも重要であり、全職員で基礎学力の定着に取り組むことが大切である。
・自分の考えをもたせるとともに、書くことになれるために、どの学習もテーマ日記に取り組んだ。次年度も書く活動に取り組み、俳句・川柳作りやNIE等の国語力の底上げについても検討していく。
・完全不登校の児童はいないが、年間30日以上欠席する児童がいるので、SCやSSW、心の相談員等の専門家と連携して教育相談を充実させる。
・家庭でのスマホ・ゲーム等が課題であり、家庭への啓発活動について、PTAと連携して行う必要がある。